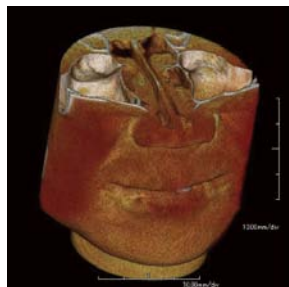


見えないところが一目瞭然。

3D 画像やスライス画像が
正確な治療のガイドラインになります。



歯科用 CT スキャナーの特徴

CT スキャナーで撮影すると歯ぐきの中にある
歯を支えているあごの状態がわかります。

今までの一般保険検査ではわかりにくかったことが
具体的にわかるようになります。

病気の進行が立体画像で表示できるので
患者さんご自身見て病状を把握することができます。

CT スキャナーなんでも

Q&A

Q1

CT スキャナーって何ですか？

A1

CT スキャナーとは「コンピューター断層撮影装置」のこと。
通常のレントゲン写真が2次元のみの撮影なのに対し、
3次元(水平・垂直・奥行)で撮影できるため
見たい断面を自在に表示でき、3D画像での診断が可能です。

Q2

撮影時間ってどのくらいかかるの？

A2

撮影部位や撮影画像にもよりますが、
約19秒で撮影が終了します。

歯科用 CT スキャナーでの撮影は保険外となります。
料金に関しては当院スタッフにお問い合わせください。

ご質問は当院のスタッフまでお気軽におたずねください。

あなたの口腔内を 3D 画像で分析・診断

歯科用 CT スキャナーのご案内



finecube

アーム型 X 線 CT 診断装置

ファインキューブ

当医院では、精密検査機器として歯科専用の CT スキャナーを使用しています。

歯科用 CT スキャナーは従来の診断機器とはまったく異なる撮影方法により、お口全体の立体画像が撮影できます。

しかも、歯の中や骨の中まで立体的に見えるので、正確な治療計画を立てることができるのです。歯科用 CT スキャナーの撮影をご希望の方はスタッフにお声をお掛けください。

あごに埋まっている歯の診断

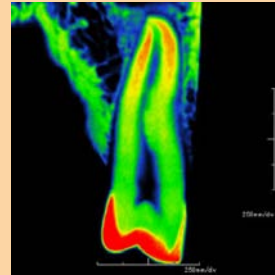
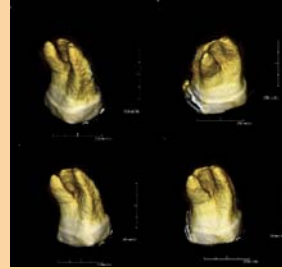
あごの中に埋まっている歯を立体的に診断することができます。



三次元の立体画像であらゆる方向から観察できます。また自由に断面図を作成して診断することができます。

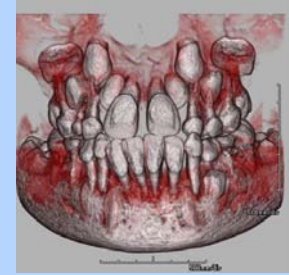
歯の形の診断

歯の根の形態や数、曲がり具合、方向や長さを立体的にとらえることができますので、根の治療においても役立ちます。



歯の生えてくる方向の診断

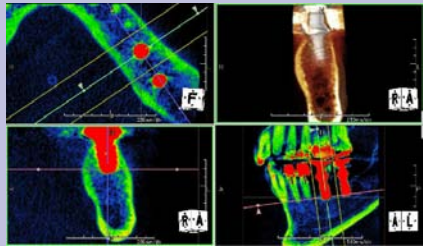
歯が生えてくる状況について、その位置・方向や歯の完成具合を異常がないかどうか三次元画像で確認できます。



矯正治療において、特に歯の根の移動状況や支える骨の具合を立体的に診断して治療の安全性を高めます。

インプラントの診断

インプラント治療において、あごの骨に埋めるインプラントを立体的にとらえて治療計画を立てられます。



インプラントの数、長さ、太さをあらゆる方向から診断して正確に決定することができます。神経などを避けて安全な位置、方向、埋める深さを決められます。治療計画を具体的に説明いたします。

歯周病の診断

歯周病で歯を支える骨がどれくらいなくなっているか？あるいは治療によりどれくらい骨が再生しているか？を立体画像で視覚的に見ることができますのでご自身の状態をおわかり頂けます。



治療計画・治療方針、治療後の評価・確認も情報を共有化することができます。

あごの骨の診断

あごの骨も立体的に撮影することができます。顎関節症などの診断に役立ちますので、ご自身の症状を正しくご理解いただくことができます。

